

□議員名：岡山 明

1 公営施設の老朽化対策について

論点	昭和34年に建築された小野田児童館の耐震、老朽化対策はどうか。
回答	これまで、診断を行うべき施設としての要件にかなっていないという判断のもとに、行っていない。

論点	本市に耐震改修促進計画があるが、耐震化の目標を設定する建築物は、「耐震改修促進法第6条第1項各項に掲げた規模の用途の建築物、多数の者が利用する建築物」とある。その指定建築物の中に児童厚生施設があり、この規模要件は2階以上、1,000㎡以上である。小野田児童館（2階、1,220㎡）は該当するのではないか。
回答	この耐震改修促進計画をつくる際、児童厚生施設は、全体の延床面積ではなく、実際に使用している床面積が対象という説明を受けている。その判断のもと1,000㎡以下で、この計画には載っていないが、法律の内容等、基準等精査して、今後の対応を検討したい。

論点	現在の使用状況は、1階は児童館、放課後児童クラブ、2階は市の教育委員会が心の支援室として活用している。このため使用床面積は1,000㎡を超えている。また、建築当時に植えられた木の根が、教室まで入り込み、根上がりを起こし1階のフロアが波打っている状況である。早期に対策をお願いしたい。
回答	内部でしっかり検討し、結論を得たい。

2 障害者等の駐車場の適正利用について

論点	山陽オート場は、本年度パラリンピック自転車競技の拠点施設に選ばれました。障害者スポーツの理解と関心を深め、スポーツによるまちづくりに取り組むためにも、このオート場の障害者等の駐車場の管理状況はどうか。
回答	障害者等の駐車場について、段差なく入場可能な西入場口前付近に、7台分表示を行って確保している。現在は、車椅子の表示のみであ

	り、目立つ色による塗装も重要である。不適正利用防止については、受託会社と連携し、抑止の対応に努めたい。
--	---

論点	本庁舎の駐車場の広さ、スペースに問題はないか。また、駐車ラインをダブル表示（2本線）にできないか。
回答	一般来客用の駐車場については、77台が駐車可能となっているが十分に確保出来ているとは思われない。正面駐車場は、新設の施設のスペースが確保されずおらず狭い状況である。駐車ラインをダブル表示にすることで全体の駐車可能台数が少なくなり、今の駐車区画が確保できなくなることで、来庁される市民の皆様にご迷惑をかけることになる。

3 選挙における投票について

論点	期日前投票の選挙への影響が大きくなりつつある中で、人の集まりやすい投票所、投票場所として、おのだサンパークが選択肢としてあげられる。有権者の利便性を考慮して、おのだサンパークでの新規開設の考えはどうか。
回答	期日前投票所の設置要件は、①投票の秘密が確保でき、投票所内の秩序の保持。②突然の選挙にも対応できること。③期日前投票所を管理する人員確保ができること。④情報セキュリティの確保等、その他に設置運用費用の問題もある。ただ、期日前投票者の数が増加傾向にあることを考慮すると、今後何らかの検討が必要な時期に来ていると考えている。

論点	期日前投票において、選挙当日に投票出来ない旨の宣誓書の記載があり、書面作成の煩わしさがある。投票所入場券に添付できないか。
回答	通常1世帯1通（1通で6人分）送付されている。この入場券の裏側に宣誓書の内容を転記することになり、記載事項が極めて小さくなる。その他総合的に判断する中、宣誓書の添付は考えていない。